

## 「総合的な学習の時間」を受けて学んだことと将来に向けて考えていること

### 食品栄養科学部栄養生命科学科3年

私は管理栄養士の資格と教員免許をどちらも得て、将来は栄養教諭になりたいと考えています。栄養教諭の主な仕事内容は、学校給食の運営と児童生徒に対しての食に関する指導です。食に関する指導は、給食の時間をはじめとする特別活動、総合的な学習の時間、各教科、道徳といった学校教育活動全体の中で行われることや、教科書がなく、児童生徒の実態や地域・学校の特徴に合わせて行います。このため私は、食に関する指導と総合的な学習(探求)の時間は共通点や関連が深いものだと考えています。以降、栄養教諭を目指す者の視点から、今回受講した馬居先生の「総合的な学習の時間」を受けた感想を述べていきます。

授業では、馬居先生だけでなく様々な専門的な視点をもつゲストの先生方から、教師としての見方・考え方や日本の現状など多くのことをお話いただき、知見が広がりました。さらに、お話を聞いたときにグループで感想や疑問を共有することで学びが深まり、たった数日間でしたが非常に貴重な経験となりました。後半は、グループごとに総合的な学習(探求)の時間のテーマを決め、自分たちが調べたことを踏まえて、どのような授業を展開したいかを話し合いました。最後には、これをまとめてプレゼンテーションを行いました。こちらは、グループメンバーとの話し合いを通して、それぞれの視点でひとつのテーマについて議論したため、多くの新たな発見がありました。授業全体を通して、得られた学びが多く、そして将来教員になった際に活かせることや、心に留めておきたいことがたくさんありました。その中でも特に印象に残っているのは、多くの先生も強調していた、「子どもの願い」や「子どもになってほしい姿」を重視した考え方です。これは、塾のアルバイトで子どもたちに勉強を教えたり、大学で模擬授業を行ったりする際に私が常々気をつけていることであり、同時に上手くできずに悩んでいることでもあります。授業内で先生方が紹介してくださった実践例から、子供たちが積極的に授業に参加し、授業をつくる姿を見ることができました。またその時、先生方は子どもたちを思い、どのような姿になってほしいかを考えながら、子供たちの願いに合わせた指導を行っていました。私はこれにとっても感動し、教員になりたい思いがより強くなりました。

栄養教諭が学校で指導をするのは、子どもたちに食に関する知識を伝えることで、子どもたち自らが自分や家族の健康のためにどのようにしたら良いのかを考え、行動してもらうことが目的であると、私は考えています。これは、授業の時間だけでなく、給食の時間や普段の食事、あらゆる場面で行えます。ここで、今回の「総合的な学習の時間」の授業から得たことを存分に活かせると思うのです。私はまだまだ未熟で、正直教員になれるかどうか、なってもよいのだろうかとずっと不安がありました。しかし、馬居先生をはじめとする先生方のお話を聞いて、今抱えている不安よりも、教員になりたい気持ちの方がずっと大きいということを再確認できました。栄養教諭になったら、食に関する指導を通して、子供たちの「こうしたい!」という願いを叶えるお手伝いができる、そんな存在になりたいです。

最後に、馬居先生、ゲストの先生方、そして一緒に話し合いとプレゼンを行ったグループメンバーに向けて、充実した時間と多くの学びを提供していただき、ありがとうございました。